

スマートフォンカメラ画像を用いて子宮頸部中等度異形成以上を判別する AI 診断プログラムの構築

1. 研究の対象

当院で子宮頸部精密観察検査(コルポスコープ検査)を受けられた患者さんを対象とします。

2. 研究目的・方法

研究期間:研究機関長の許可日～2029年3月31日

現在子宮頸部異形成・子宮頸癌はコルポスコピーワークでの子宮頸部生検により診断がなされています。本研究では現行のコルポスコピードラムに代わる画像機器として皮膚科を始め画像診断デバイスとして注目され始めたスマートフォンを用い、かつ人工知能を活用した子宮頸部画像診断等の開発を目的とします。

3. 研究に用いる情報の種類

患者基本情報・コルポスコピードラムとスマートスコピードラムの両画像データ・子宮頸部細胞診結果・子宮頸部組織診病理結果(施行した場合) 等

4. 外部への情報の提供

データの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当院の研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

【研究代表者】

大阪大学大学院医学系研究科 外科系臨床医学専攻 外科学講座消化器外科
三吉 範克

【研究事務局】

大阪回生病院 三好 愛

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出下さい。

連絡先

〒541-8567 大阪府大阪市中央区大手前 3-1-69
大阪国際がんセンター 婦人科

部長 北井美穂

TEL 06-6945-1181